



平成25年工業統計調査を実施します

工業統計調査は我が国の工業の実態を明らかにすることを目的とした統計法に基づく報告義務がある重要な統計です。

調査結果は中小企業施策や地域振興などの基礎資料として活用されます。

調査時点は平成25年12月31日です。

該当する事業所には調査員が調査票配布のため訪問しますので、調査票へのご回答をお願いいたします。



工業統計キャラクター・コウちゃん

経済産業省・熊本県・市町村



山都警察署・署協議会だより

山都警察署 TEL72-0110

熊本県警のホームページ
http://www.police.pref.kumamoto.jp/
管内の犯罪・交通事故の発生状況、
県警からのお知らせ等が掲載中です。

第2回山都警察署協議会開催結果

11月26日(火)、第2回山都警察署協議会を開催しました。警察署から、本年の犯罪や交通事故発生状況、主な取組結果と来年の展望について説明を受けました。

協議会終了後は、県警察本部通信指令課110番センター、道路交通情報管制センター、本年7月16日(火)から運用を開始した熊本東警察署の視察を行うなど、活発な協議会となりました。



110番センター視察状況



熊本東警察署視察状況

<ゆっぴー安心メール>

子どもたちの安全確保や地域の犯罪防止を図るため、県内で発生した不審者の出没や子ども・女性に対する犯罪の前兆事案の発生情報などを、会員登録された方の携帯電話に配信します。



<シルバー見守りネット>

保護が必要な高齢者等(障がい者や小学生以下の児童を含む)の行方不明手配や交通安全・振り込め詐欺等の犯罪被害防止情報を、携帯電話へメール配信します。



※QRコードを読み取れない方は

<ドメイン> ansin.police.pref.kumamoto.jpを指定設定後、
【ゆっぴー安心メール】 k110@ansin.police.pref.kumamoto.jp
【シルバー見守りネット】 net110@ansin.police.pref.kumamoto.jp
に空メール送信をお願いします。

1月10日は110番の日です

110番の正しい使用をお願いします。

事件・事故の緊急ダイヤル～110番

☆110番する時は

- なにが・・・何があったか(事件か、事故か)
- いつ・・・何時ころあったのか
- どこで・・・発生した場所は、場所の目標は等の要領で落ち着いて話してください。

☆110番通報時の心かけ

- 事件、事故が発生したらためらわず、素早く、直ちに通報してください。
- 110番通報は、どの地域からでも全て警察本部にかかります。市町村名、電話番号、付近の建物、駅・停留所等の目標物をお話してください。目標物がない場合は、付近に設置されている九州電力の電柱番号を知らせてください。

犯罪・交通事故発生状況(山都町)

事件・事故	25年(1～11月末)
刑法犯	31件(36件)
人身交通事故	37件(32件)

※○内は昨年同時期の発生状況



いたずら電話は絶対にやめてください。いたずら電話や不要な電話が架かっている間に、本当に緊急な110番が通報できなくなり、事件・事故の解決や人の生命・身体に関わる大きな障害となります。

そよう病院だより

～そよう病院基本理念～

「へき地医療拠点病院として、患者様に信頼される良質な医療を提供し、地域住民に親しまれる病院を目指します。」

特集 家庭でできる リハビリ

第61集 乳がん～疫学と遺伝～

研修医 松下 絢三 医師 竹本 隆博

乳がんとは、その名のとおりに乳房に発生するがんのことであり、近年その数は上昇の一途をたどっています。今回、そんな乳がんについて、疫学的・遺伝的な特徴を示します。

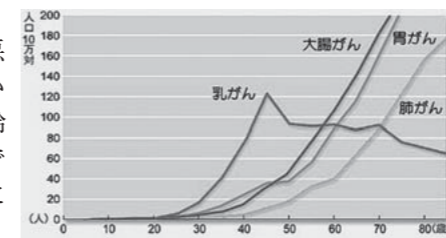
【患者数】

患者数は年々増加の一途をたどっています。2011年のデータでは、新規乳がん患者は約6万人にのぼるとされています。

また、その数は、女性がかかる全悪性疾患の1位となっております。(男性も乳がんになりますが、その数は女性の1/100以下です)

【好発年齢】

通常がん(悪性新生物)という病気は、高齢者に多いものですが、乳がんに関しては異なり、年齢別にみた女性の乳がんの罹患(りかん)率は30歳代から増加し始め、50歳前後にピークを迎え、その後は次第に減少します。



罹患数と死亡数

女性では、乳がんにかかる数は乳がんで死亡する人の数の3倍以上です。これは、女性の乳がんの生存率が比較的高いことと関連しています。(男性の乳がんは、女性の乳がんに比べて生存率が低い(予後が悪い)ことが知られています。)

罹患率、死亡率ともに一貫して増加しており、出生年代別では、最近生まれた人ほど罹患率、死亡率が高い傾向があります。

【リスク因子】

・リスク減少因子	・リスク増高因子
- 肥満(閉経前乳がん)	- 体内のエストロゲンレベルが高い
- 運動	- 経口避妊薬の使用や閉経後のホルモン補充療法
- 妊娠および出産	- 初経年齢が早い、閉経年齢が遅い、出産歴がない、初産年齢が遅い、授乳歴がない
	- 肥満(閉経後)
	- 飲酒習慣
	- 乳がんの家族歴、良性乳腺疾患の既往、マンモグラフィ上の高密度所見

【遺伝】

乳がんを発症した人の5～10%は、遺伝的に乳がんを発症しやすい体質を持っていると考えられています。世界中の研究で、家族の中に乳がん患者さんがいる女性は、いない女性に比べて2倍以上乳がんになりやすいとされています。乳がんを発症した人数が多いほど、さらにリスクは高くなります。

BRCA1遺伝子もしくはBRCA2遺伝子に遺伝子変異が起こった場合、乳がん・卵巣がんの罹患率が高くなるとされています。この遺伝子が親から子に遺伝する確率は50%であり、子供たちの間でも遺伝子を持つ子持たない子ができます。また、この遺伝子変異を持っていても、乳がん・卵巣がんを発症しない場合もあります。

【遺伝性乳がんを考慮すべき状況】

- 乳がんと診断された年齢が若い(50歳以下が目安)
- 一人の患者さんが同時にまたは異なる時期に、2つ以上の原発性乳がんを発症した場合(両側の乳房にて乳がんが認められた場合や、同じ側の乳房内に明らかに別の複数の原発がんがある場合を含む)
- 一人の患者さんが、乳がんと同時にまたは異なる時期に、卵巣がん、卵管がん、原発性腹膜がんのいずれかを発症している場合
- 乳がん患者さんの父方母方どちらか一方の家系の近縁の血縁者の中に、乳がんと診断された人が2人以上いる場合、または、近縁の血縁者の中に、乳がんと診断された人が1人しかいなくても、ほかに卵巣がん、卵管がん、原発性腹膜がんのいずれかの患者さんがいる場合
- 乳がん患者さんが男性である場合

【最後に】

女性の食生活の欧米化やライフスタイルの変化により日本人女性の乳がん罹患率は年々増加しています。「20歳を過ぎれば乳がん年齢」と言われる今、積極的な乳がん検診の受診をお勧めします。